

I 全国・東北の景気動向

1. 業況判断D I の推移（中小企業・小企業）

①全業種計

	22.1-3	22.4-6	22.7-9 見通し
中小企業	▲0.9	7.2	11.3
小企業	▲52.8	▲33.6	▲38.0

②製造業

	22.1-3	22.4-6
中小企業	6.2	0.1
小企業	▲24.5	▲24.5

③非製造業

	22.1-3	22.4-6
中小企業	▲5.1	11.5
小企業	▲56.0	▲35.2

資料：(株)日本政策金融公庫

2. 業種別業況判断D I の推移（小企業）

※（7-9 については見通し）

①卸売業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲51.4	▲32.8	▲40.9

②小売業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲57.9	▲44.9	▲47.0

③飲食店・宿泊業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲82.9	▲40.3	▲39.2

④サービス業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲52.2	▲29.9	▲34.9

⑤情報通信業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲25.6	▲27.6	▲25.0

⑥建設業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲30.1	▲23.1	▲30.1

⑦運輸業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲52.6	▲27.7	▲23.1

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 東北業況判断D I の推移（小企業）

22.1-3	22.4-6	22.7-9 見通し
▲53.0	▲34.3	▲37.6

資料：(株)日本政策金融公庫

※業況判断D I

景気が良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いた数値。

○東北の小企業の景況は、全ての業種で 2022 年 1-3 月期に比べ 4-6 月期でマイナス幅が縮小し、小売業と飲食店・宿泊業、運輸業では 7-9 月期も若干マイナス幅が縮小する見通しであるが、その他の業種ではマイナス幅がまた拡大の見通しとなっている。

小売業と飲食店・宿泊業ではマイナス幅が縮小の見通しと言っても 7-9 月期の見通しで小売業（▲55.3）、飲食店・宿泊業（▲49.4）となっており、依然として全業種計と比較して厳しい状況が続いている。

運輸業の見通しは「1-3 月期▲53.8」→「4-6 月期▲14.3」→「7-9 月期見込み▲7.1」と他業種と比較して大きく改善の傾向がみられる。

Ⅱ 宮城県内の景気動向

１．業況判断D I の推移（全業種計）

	22.1-3	22.4-6	22.7-9
宮城県	▲46.7	▲39.3	▲40.8
全 国	▲52.8	▲33.6	▲35.8

資料：(株)日本政策金融公庫

○4-6 月期の業況判断D I（全業種計）は、前回調査に比べてマイナス幅が 7.4 ポイント縮小し、▲39.3 となったが、7-9 月期については、マイナス幅が若干拡大し▲40.8 となった。

○業種別にみると、1-3 月期と 4-6 月期の比較では製造業（▲6.7→▲29.4）のマイナス幅は拡大したものの非製造業（▲53.3→▲41.1）では縮小した。4-6 月期と 7-9 月期では横這いの業種が多いが、小売業（▲68.2→▲36.4）と大きくマイナス幅が縮小した。

２．業況判断D I の推移（業種別）

①製造業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲6.7	▲29.4	▲37.5

②非製造業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲53.3	▲41.1	▲41.4

③卸売業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲44.4	▲43.8	▲30.8

④小売業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲66.7	▲68.2	▲36.4

⑤飲食店・宿泊業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲100.0	▲61.5	▲64.3

⑥サービス業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
▲52.9	▲23.8	▲30.4

⑦建設業

22.1-3	22.4-6	22.7-9
8.3	▲23.1	▲22.2

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 売上D I の推移（全業種計）

	22.1-3	22.4-6	22.7-9
宮城県	▲30.6	▲14.6	▲26.7
全 国	▲43.6	▲13.0	▲17.3

資料：(株)日本政策金融公庫

○4-6 月期の売上D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 16.0 ポイント減少したが、7-9 月期では再びマイナス幅が拡大し、全国と比較して悪化傾向となった。

4. 採算D I の推移（全業種計）

	22.1-3	22.4-6	22.7-9
宮城県	▲46.2	▲36.4	▲33.7
全 国	▲43.1	▲29.0	▲29.4

資料：(株)日本政策金融公庫

○4-6 月期の採算D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 9.8 ポイント縮小して▲36.4 となり、7-9 月期も 2.7 ポイント改善された。

5. 資金繰りD I、借入D I の推移（全業種計）

	22.1-3	22.4-6	22.7-9
資金繰り DI（宮城県）	▲38.5	▲21.7	▲31.7
借 入 DI（宮城県）	▲12.5	▲20.8	▲27.3
資金繰り DI（全国）	▲35.5	▲19.4	▲27.9
借 入 DI（全国）	▲17.5	▲15.0	▲18.6

資料：(株)日本政策金融公庫

○4-6 月期の資金繰りD I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 16.8 ポイント縮小したものの、7-9 月期では再び拡大し▲31.7 となった。

○民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、1-3 月期から徐々に悪化の傾向がみられ、全国と比較して 9.3 ポイント低い▲27.9 となった。

6. 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

	21.10-12	22.1-3	22.4-6
売 上 不 振	49.5	45.7	43.9
利 益 減 少	22.0	26.7	21.5
求 人 難	10.1	11.4	14.0
設備老朽化等	3.7	6.7	8.4

資料：(株)日本政策金融公庫

○当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が依然として最も多いものの徐々に減少しており、求人難や設備老朽化等の割合が増加傾向となっている。

7. 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	21.10-12	22.1-3	22.4-6
宮 城 県	10.2	10.5	16.8
前年同期実績との差	-0.5	0.6	8.5
全 国	15.1	10.5	12.6

資料：(株)日本政策金融公庫

○設備投資実施企業割合（全業種計）は増加傾向がみられ、昨年同期実績や全国と比べて4-6月期では大きく増加している。